

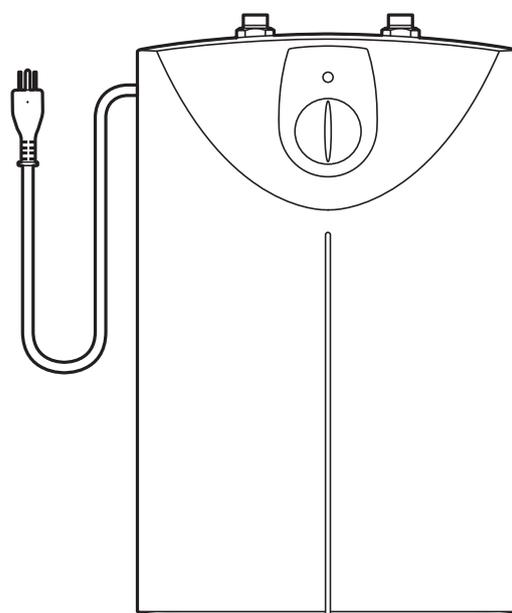
貯湯式電気温水器

取付説明書

型名：SHU 5SLi

STIEBEL ELTRON

施工業者様用



取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客さまにご使用いただくために、取扱説明書ならびに本書の「1.安全上のご注意」(P1)をよくお読みのうえ、取付説明書の内容に沿って正しく取付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一、施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただきますようお願い致します。
- 取扱説明書の保証書に、販売店及び取付日等の必要事項が記載されていることを確認し、必ずお客さまにお渡しください。
- 工事終了後は、本書を必ずお客さまにお渡しください。
- 工事終了後は、必ずお客さまに取扱いの説明を行なってください。直接お客さまに説明できない場合は、現場責任者に説明の上、必ずお客さまに取扱いの説明を行なうようにしてください。

日本スティーベル株式会社

目次

1. 安全上のご注意	1
2. 部品を確認する	4
3. 各部のなまえ.....	5
4. 寸法図と内部結線図	6
4-1. 寸法図.....	6
4-2. 内部結線図	6
5. 設置条件	7
5-1. 排水心の左側に設置するとき	7
5-2. 排水心の右側に設置するとき	7
6. 施工例	8
7. 設置の手順.....	9
7-1. 設置の前に	9
7-2. 電器温水器本体の設置	10
7-3. 試運転.....	19
8. 水抜きの方法.....	25
9. トラブルシューティング	26

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
---	---

■本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  付属の電源コードを外さないでください。
-  取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指示されている付属部品以外は使用しないでください。
-  200Vの電源コードには200Vの屋内配線以外を接続しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。
-  屋内の湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。

-  機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  凍結の恐れがある場所には設置しないでください。

指示

-  機器は、指定の離隔距離を守って設置してください。詳しくは、P7「5.設置条件」を参照してください。
-  コンセントボックスは、機器から100mm以上離してください。
-  背面金具を正しく取付け、機器をしっかりと壁面に固定してください。
-  電源及び消費電力、定格電流を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って配線を正しく行なってください。
-  必ず専用の漏電ブレーカを1台設置してください。
-  アースは第三種設置工事(D種接地)を行なってください。
-  電圧は定格電圧の $\pm 10\%$ 以内であることを確認してください。
-  取付工事完了後に取付説明書に記載のP19「7-3.試運転」に従って各部の点検を実施し、器具のがたつきや漏電、水漏れなど安全上の問題がないことを確認してください。
-  機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡しをせず、弊社窓口にご相談ください。
-  前面カバーを外して点検する際は、電源ブレーカ「切(OFF)」にしてから作業してください。
-  床面に防水処理を施してください。
-  水の凍結が予想される場所では、凍結防止処理を施してください。

注意

禁止

-  設置前の機器は、雨水が当たる場所に置かないでください。
-  機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

！ 指示

- ！ 水道管は、機器に接続する前に必ず専用の止水栓と減圧弁を付けてください。
- ！ 機器設置位置周辺に、パナソニック「WF5112」電源プラグに対応するコンセントを設けてください。
- ！ 試運転、引き渡し前には必ず絶縁抵抗を確認してください。
- ！ 給水管接続口、給湯管接続口を必ず上に向けて設置してください。
- ！ 取扱説明書の保証書に販売店及び取付け日等の必要事項が記載されていることを確認し、必ずお客さまにお渡しください。
- ！ 工事終了後は、必ずお客さまに取扱いの説明を行なってください。直接お客さまに説明できない場合は、現場責任者に説明の上、必ずお客さまに取扱いの説明を行なうようにしてください。

施工業者様へのお願い

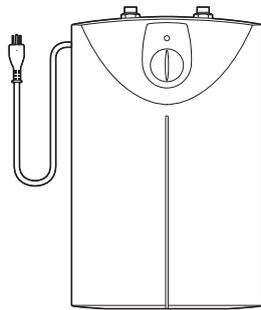
 注意	 本製品は、飲用向けではありません。本製品から出湯するお湯を飲料として使用しないでください。
---	--

- 給水圧力は、最低必要水圧(流動時)：0.05MPa、最高水圧(静止時)：0.75MPaです。自動水栓と接続する場合は、最低必要水圧(流動時)：0.1MPa、最高水圧(静止時)：0.75MPaです。本製品は、この圧力の範囲内で使用ください。なお、最低必要水圧未満の環境で使用すると、流量が少なくなります。
- 取扱説明書にある保証書に、取付店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。
- フィルター付きアングル型止水栓(現場手配品)を取り付けてください。
- 逃し弁には、ボイリングトラップ相当品を取り付けてください。
- 給水管には、フレキシブル管を使用してください。鋼管などで接続すると、シール剤などが内部に入って作動不良を起こすことがあります。
- 機器には、必ず95kPaの逃し弁(20A)を付けてください。
- 給水口(青)に接続する配管の途中には、必ず80kPaの減圧弁を接続してください。
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一、施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただきますようお願い致します。
- 天井裏や密閉部など日常点検ができない場所に、本製品を設置しないでください。
- アースを取ることで、万一の漏電による事故を防ぐことができますが、より安全な対策をするには、給水/給湯配管に絶縁パイプを接続してください。

2. 部品を確認する

□ 機器本体

SHU 5SLi



□ 壁固定金具

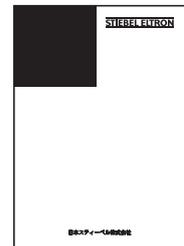


(本体裏面にテープ止め)

□ 取扱説明書

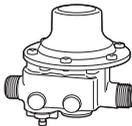
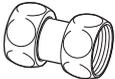
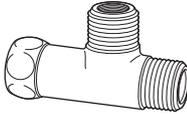


□ 取付説明書(本書)

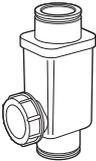
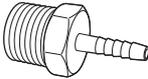


■ オプション品または現場手配品

[SHU 5SLi減圧弁・逃し弁・配管]セット

<p>減圧弁 (KR-13LC0.8) 80kPa 1個</p> 	<p>逃し弁 (DE-13) 95kPa 1個</p> 
<p>両ナット付アダプタ G1/2 2個 ※パッキン 2枚付</p> 	<p>片ナットベンリー カンチーズ G1/2 2個 ※パッキン 2枚付</p> 

[ボイリングトラップ]セット

<p>ボイリングトラップ (間接排水器具) 排水管への接続径=φ30mm 1個</p> 	<p>ホースニップル 1個</p> 
<p>ボイリング トラップホース (1.6m) 1個</p> 	<p>ホース用クランプ 2個 ※1個は予備です。</p> 

[その他]

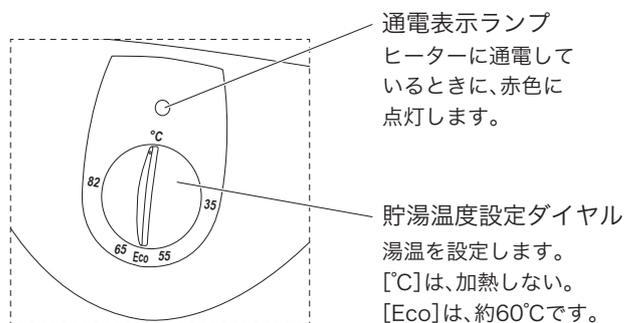
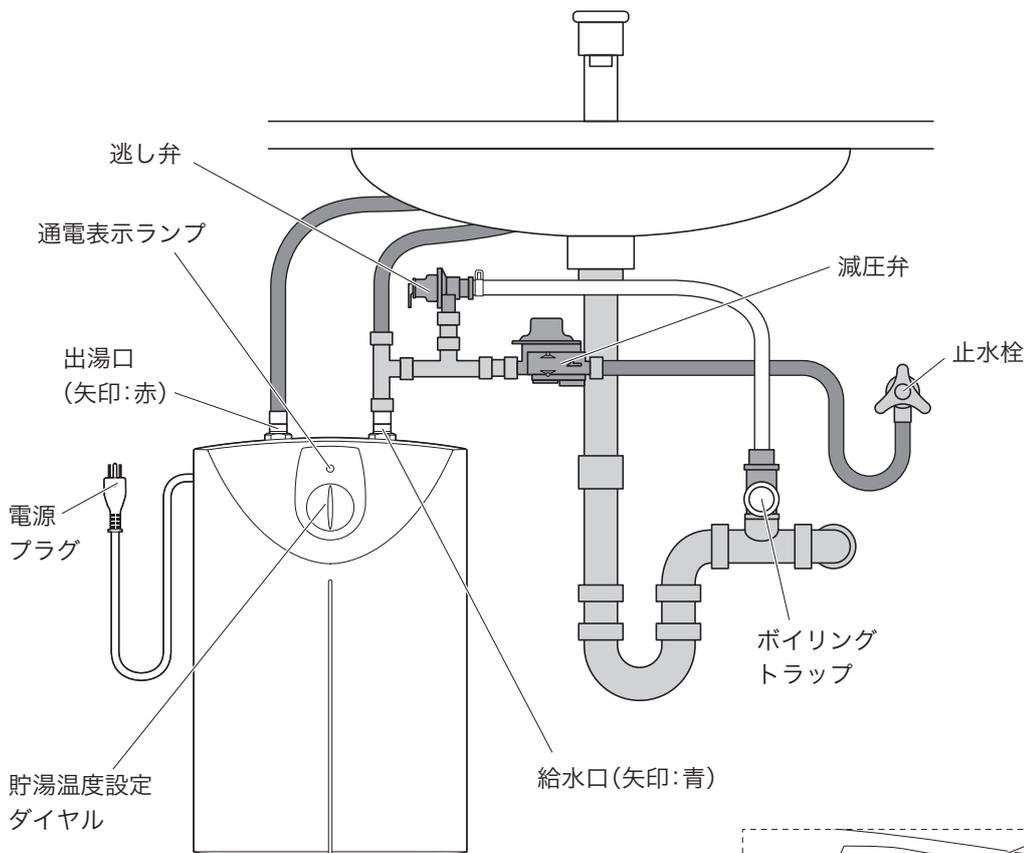
<p>変換アダプタ G3/8 - G1/2 2個 ※G3/8パッキン付き</p> 
--

■ 現場手配品(取付工事に必ず必要になるものです)

- 木ネジ(φ6×32相当) 2本 ※ネジ頭の高さが5mm以下であること
- カールプラグ(木ネジφ6×32に合うもの) 2個 ※タイルまたはコンクリート製の壁に取り付ける場合
- パッキン(G1/2)・シールテープ 適宜
- 電源コンセント(单相250V/15A 接地付品) 1個

3. 各部のなまえ

ここに記載の減圧弁、逃し弁、ボイリングトラップ、止水栓、カラン、接続配管は、施工例として示したものです。施工例を参考に現場の状況に合わせて変更可能です。

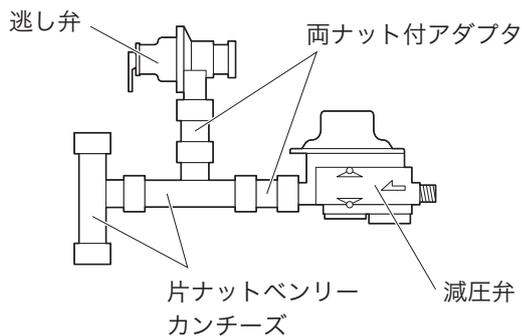


✓ ご注意

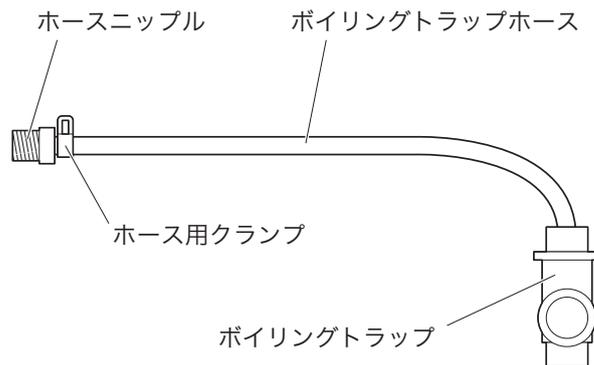
貯湯温度設定ダイヤルの目盛りについて
ダイヤルに表示されている設定温度はあくまでも
目安です。

オプション品または現場手配品

■SHU 5SLi減圧弁・逃し弁・配管セット部分

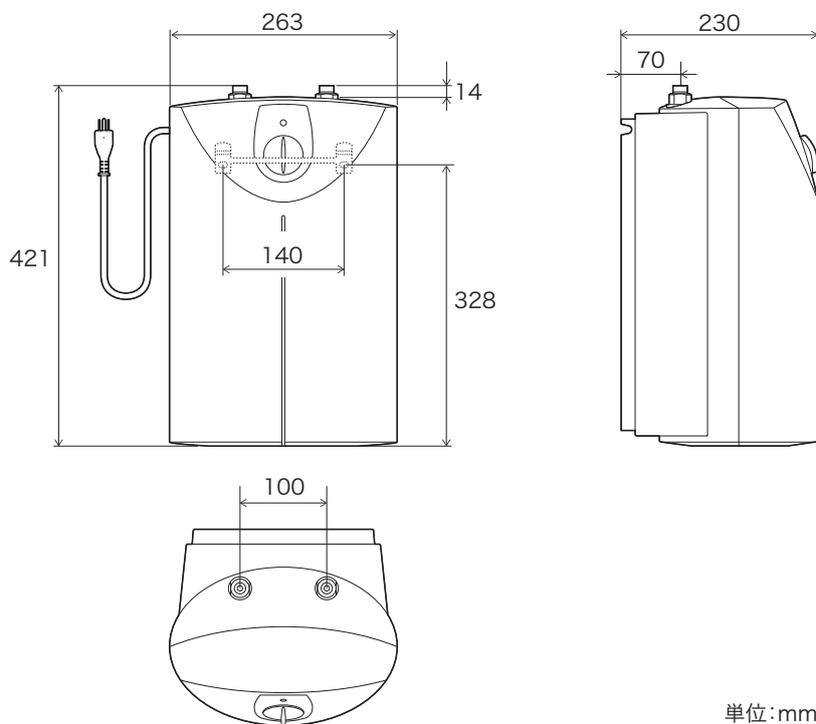


■ボイリングトラップセット部分

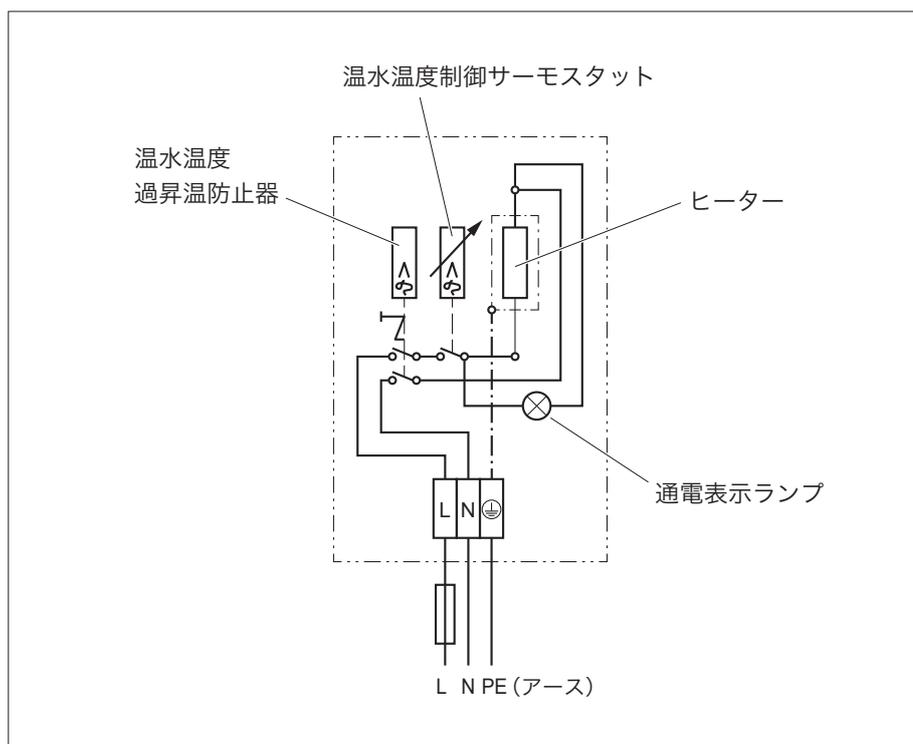


4. 寸法図と内部結線図

4-1. 寸法図



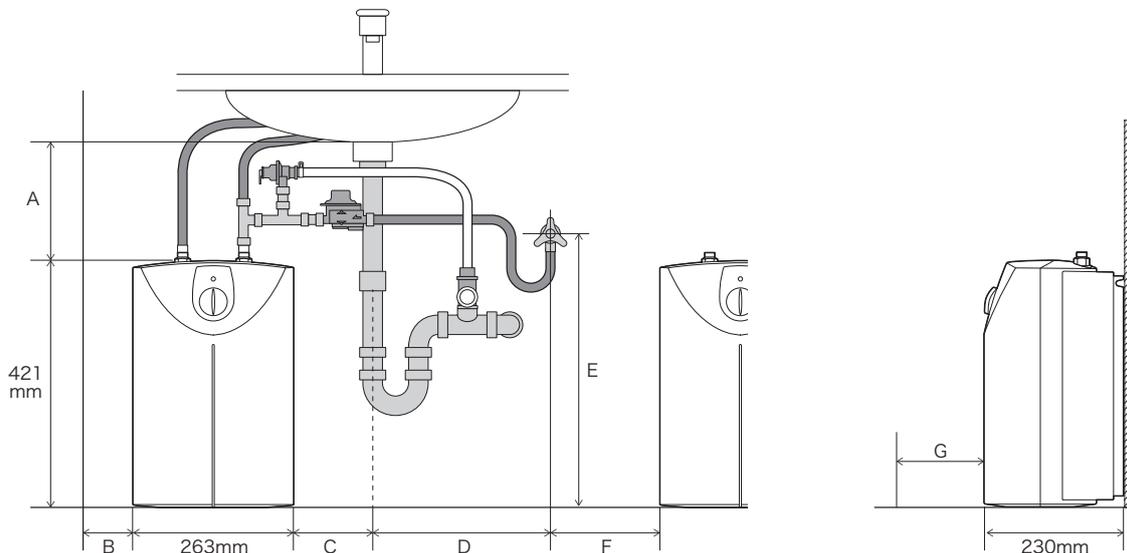
4-2. 内部結線図



5. 設置条件

ここに記載の減圧弁、逃し弁、ボイリングトラップ、止水栓、カラン、接続配管は、施工例として示したものです。図を参考に現場の状況に合わせて変更可能です。

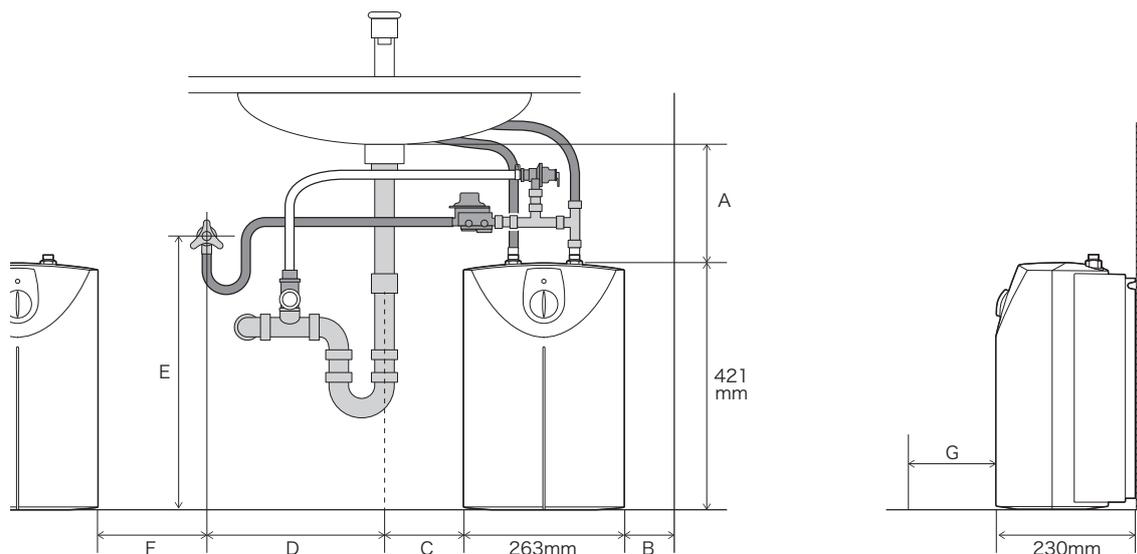
5-1. 排水心の左側に設置するとき



A=180mm 以上	減圧弁・逃し弁などを配管施工するために必要な寸法
B=35mm 以上	メンテナンス時に必要な寸法
C=50mm 以上	施工時、メンテナンス時に必要な寸法
D=200mm 以上	ボイリングトラップの取り付けに必要な寸法

E=250mm 以上	
F=45mm 以上	止水栓を開閉するのに必要な寸法
G=1000mm 以上	メンテナンス時に必要な寸法

5-2. 排水心の右側に設置するとき

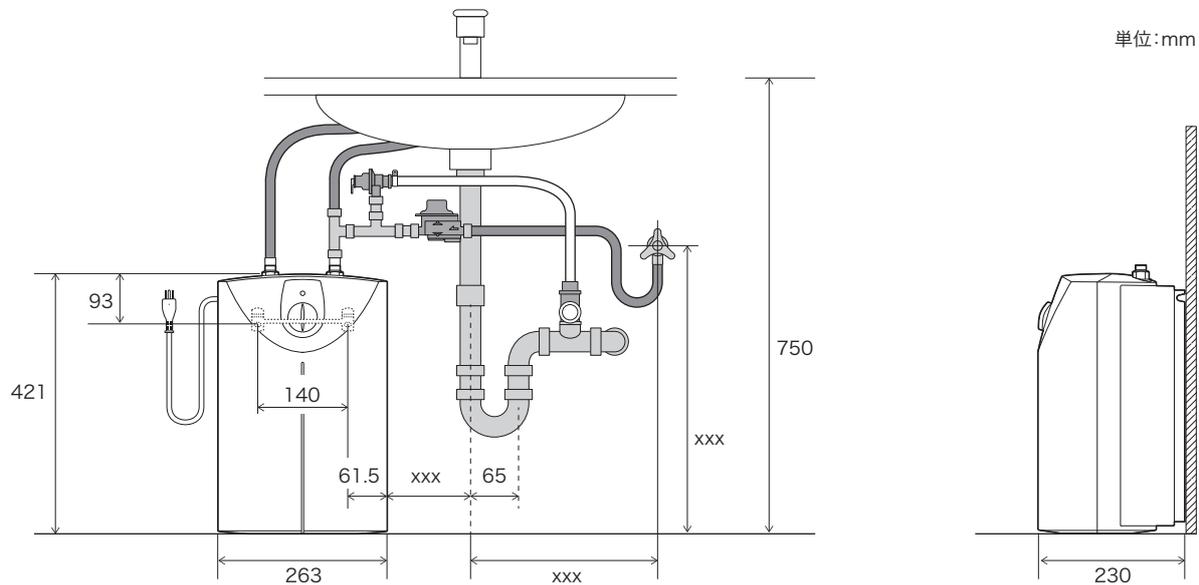


A=180mm 以上	減圧弁・逃し弁などを配管施工するために必要な寸法
B=35mm 以上	メンテナンス時に必要な寸法
C=50mm 以上	施工時、メンテナンス時に必要な寸法
D=200mm 以上	ボイリングトラップの取り付けに必要な寸法

E=250mm 以上	
F=45mm 以上	止水栓を開閉するのに必要な寸法
G=1000mm 以上	メンテナンス時に必要な寸法

6. 施工例

ここに記載の減圧弁、逃し弁、ボイリングトラップ、止水栓、カラン、接続配管は、施工例として示したものです。施工例を参考に現場の状況に合わせて変更可能です。



7. 設置の手順

このあとの設置手順は、オプション品を使用した場合を示したものです。設置手順を参考に現場の状況に合わせて変更可能です。

7-1. 設置の前に

●壁固定金具を取り付ける位置の下地処理を済ませておいてください

電気温水器本体の転倒や移動を防ぐため、壁面に壁固定金具を取り付けて電気温水器本体を固定します。壁固定金具を取り付ける部分の下地は、以下の質量に耐えるように施工しておく必要があります。

SHU 5SLi (5Lタイプ)	約10kg (満水時)
------------------	-------------

●木製の壁面に取り付ける場合の下地について

乾式工法の場合は、下地に厚さ12mm以上のJAS規格適合と同等の合板を使用してください。

●壁面の仕上がりに合わせて、木ネジ等をあらかじめご用意ください(現場手配品)

- 木ネジ(φ6×32相当) 2本 ※ネジ頭の高さが5mm以下であること
- カールプラグ(木ネジφ6×32に合うもの) 2個 ※タイルまたはコンクリート製の壁に取り付ける場合
- パッキン(G1/2)・シールテープ 適宜
- 電源コンセント(单相250V/15A 接地付品) 1個

●排水管の形状に合わせて、ボイリングトラップ(P4参照)用の「接続継手(径φ30mm)」を用意してください(現場手配品)

●電気温水器を床に設置する場合でも、転倒防止のために必ず壁固定金具を取り付けてください

7-2. 電器温水器本体の設置

7-2-1. 施工例

施工時の作業の流れを説明します。この流れに沿って、設置してください。

①壁固定金具のネジ穴位置けがき(→P11)

②壁固定金具の取り付け(→P12)

⑧混合栓の接続(→P17)

⑨電気工事

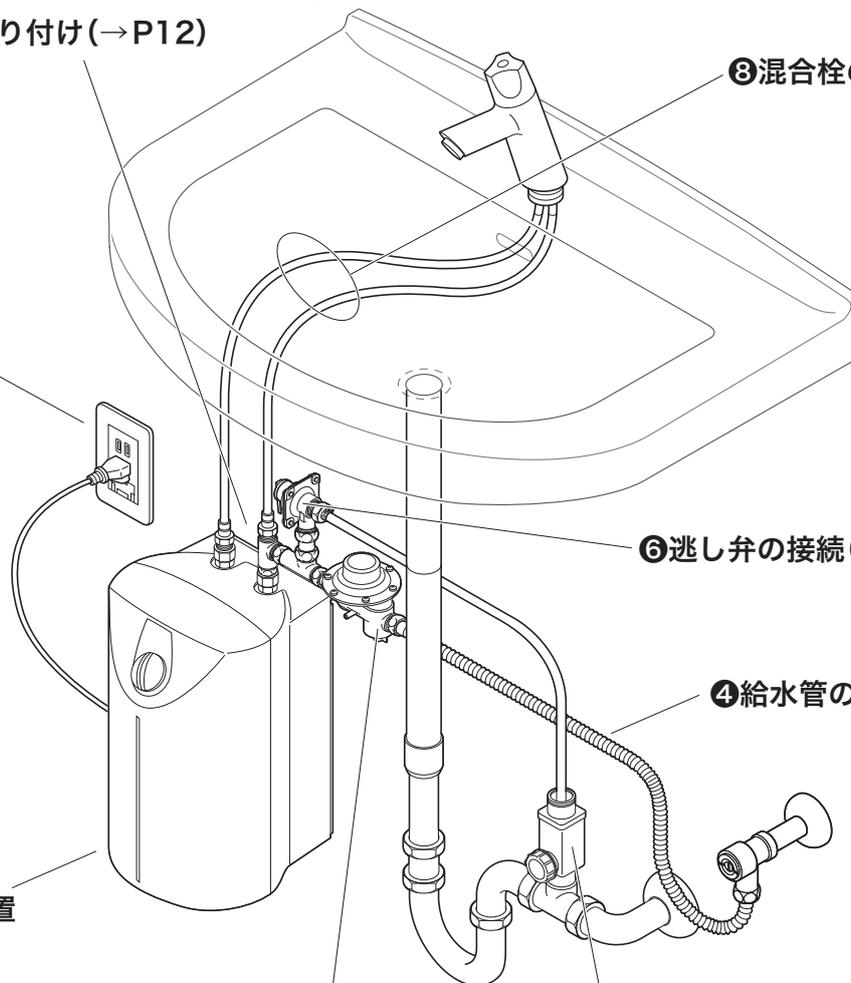
⑥逃し弁の接続(→P14)

④給水管の接続(→P13)

③電気温水器の設置
(→P12)

⑤減圧弁の接続(→P14)

⑦ボイリングトラップおよび
ボイリングトラップ用ホースの
取り付け(→P15)



7-2-2. 電気温水器本体を固定する

「7-1. 設置の前に」の内容を確認のうえ、作業を始めてください。

壁面の下地処理の確認

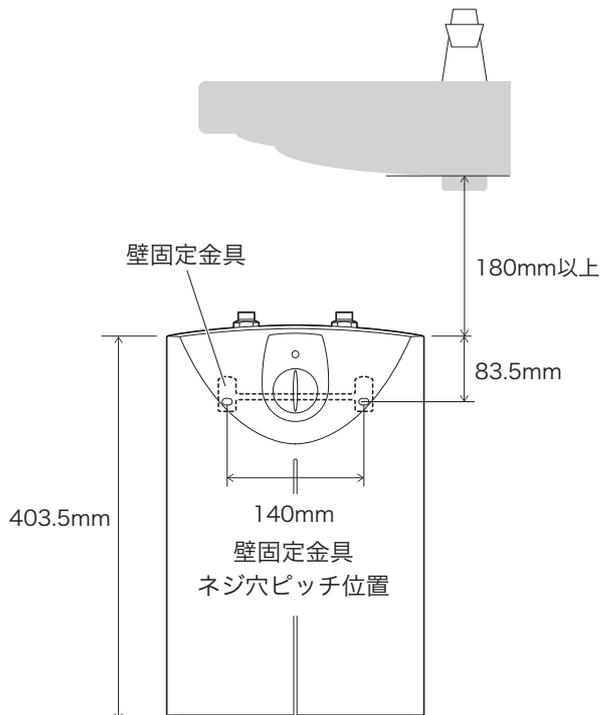
現地手配品の確認

✓ ご注意

- 施工の際、電気温水器本体を床に直置きするとキズが付く恐れがあります。緩衝材を床に敷くなどしてから作業を始めてください。
- 電気温水器本体が水平になるよう取り付けてください。
- 壁固定金具の木ネジの固定には、電動ドライバーなどは使わずに手締めしてください。
- 電源コードを挟んだり、エッジ部への接触などにより、電源コードにダメージを与えないようにしてください。

1 設置条件(→P7)を参考に、洗面器、水洗金具等の位置に注意して、電気温水器本体を設置する場所を決めます。

2 壁固定金具のネジ穴の位置をけがきます。



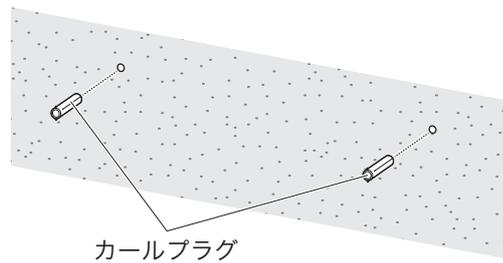
✓ ご注意

本製品は縦置き以外では設置できません。逆さ、横置き、寝かせ置きなどでの設置は、十分な出湯性能が得られないため、おやめください。

3 壁固定金具を壁面に取り付けます。

●壁面がタイルまたはコンクリートの場合

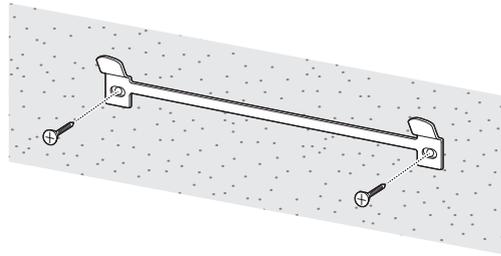
けがいたネジ穴位置に下穴を開けて、カールプラグ(現場手配)を打ち込みます。



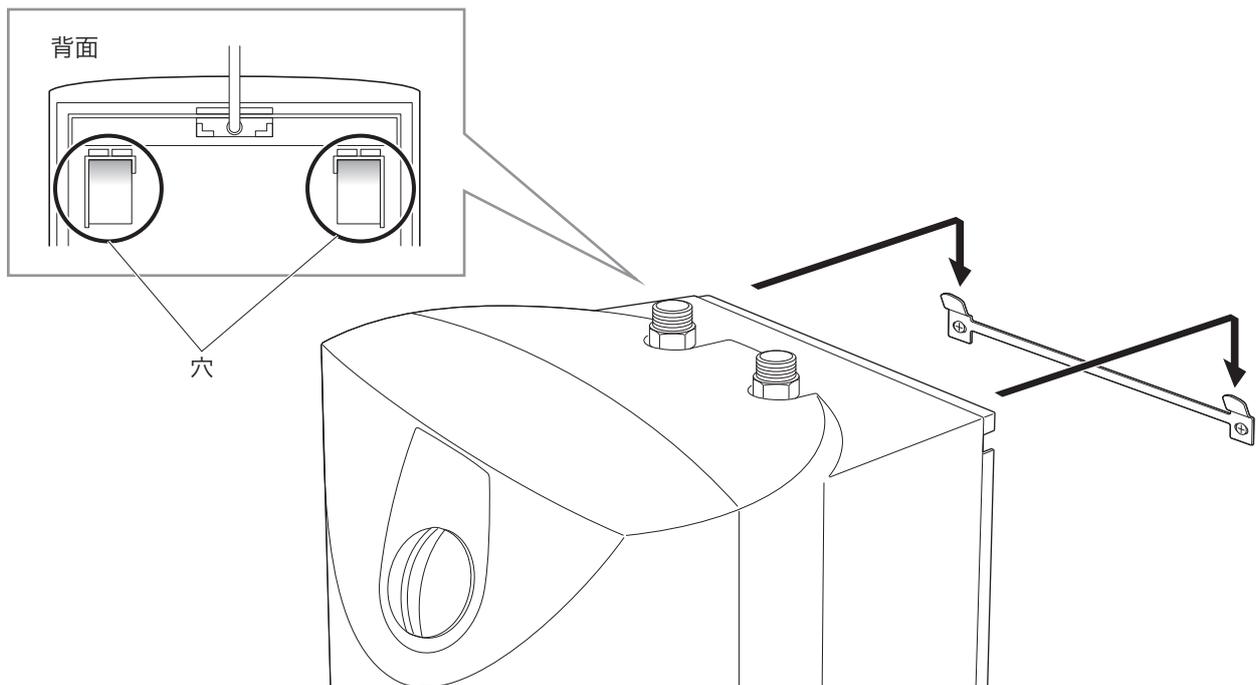
●壁面が木製の場合

下地処理が完了していることを確認してから、手順**4**へ進みます。

4 壁固定金具を位置に合わせて、用意した木ネジ(2本)で固定します。



5 電気温水器本体の背面の穴に壁固定金具のツメを引っ掛けます。



• しっかり固定されていることを確認します。

7-2-3. 給水管を接続する

弊社の別梱包品を使用した接続例です。別梱包品を使わずに配管する場合は、以下の点に注意してください。

- ・混合水栓への給水配管は、必ず減圧弁の後段に配管してください。
- ・本製品には、減圧弁、逃し弁を内蔵していないため必ず別途接続してください。

✓ ご注意

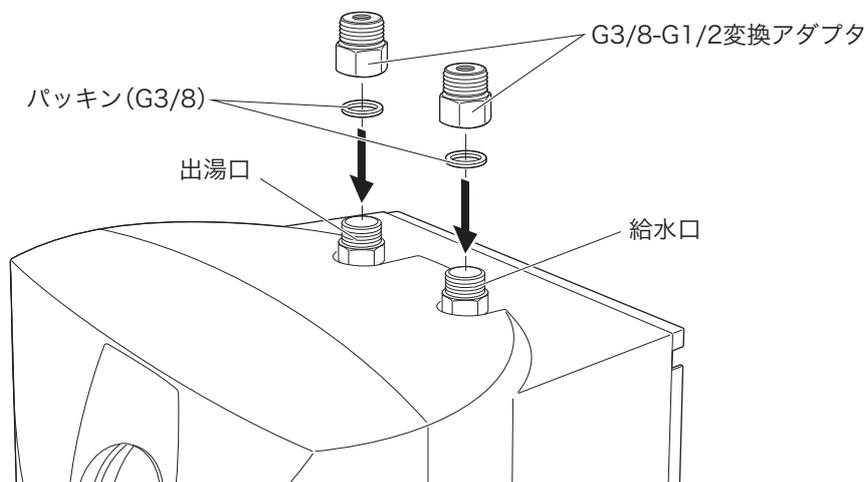
- 給水口に接続する前に、必ず配管内のゴミなどを取り除くために、止水栓を開けて水を流してください。水を流さず電気温水器本体とつなぐとゴミが入り、故障の原因となります。
- フィルター付きの止水栓を掃除する場合は、水が噴き出すことを防ぐために、いきなりフタをゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。
- 建築工事側の配管の接着剤が乾いていることを確認してから、工事を進めてください。接着剤が乾く前にお湯を通すと、お湯が臭うことがあります。

- 1** バケツなどの受け皿を止水栓の下に置きます。止水栓に付属の工具などを使って、フィルターキャップを外します。

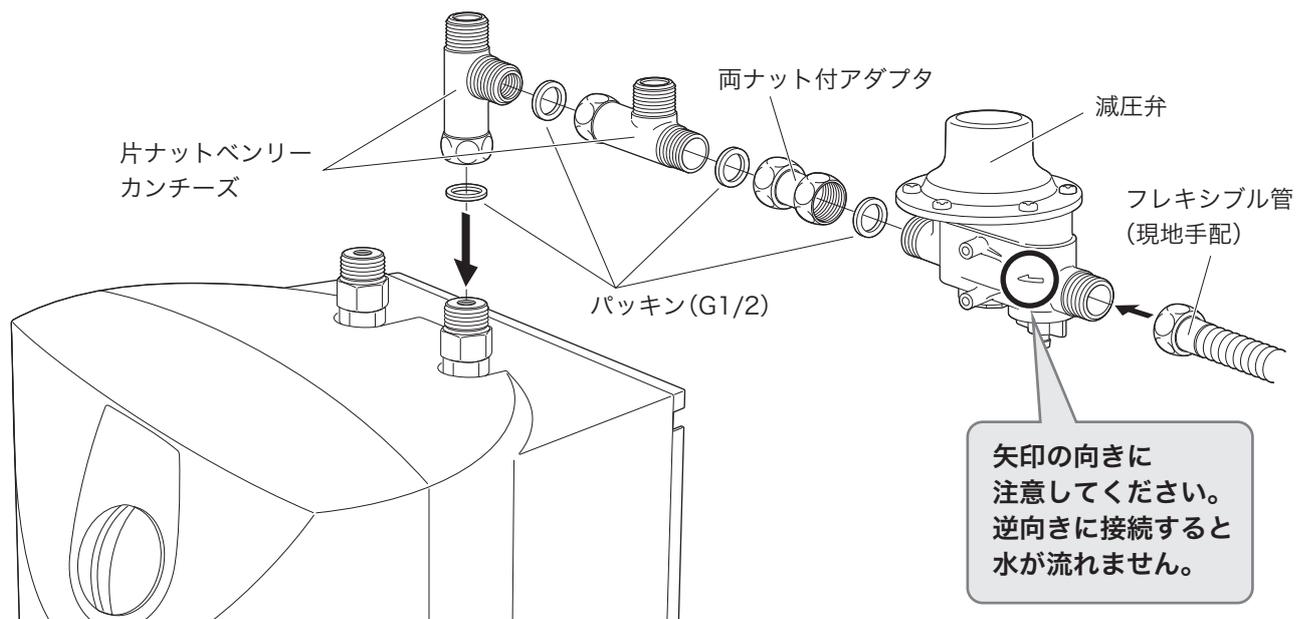


- ・バケツ2杯分程度の水を流してください。
- ・フィルターに詰まったゴミなどを取り除きます。
- ・イラストは例です。実際の止水栓や給水口の説明書を参考にして、フィルターキャップを外してください。

- 2** 出湯口と給水口に、「G3/8-G1/2変換アダプタ」を接続します。



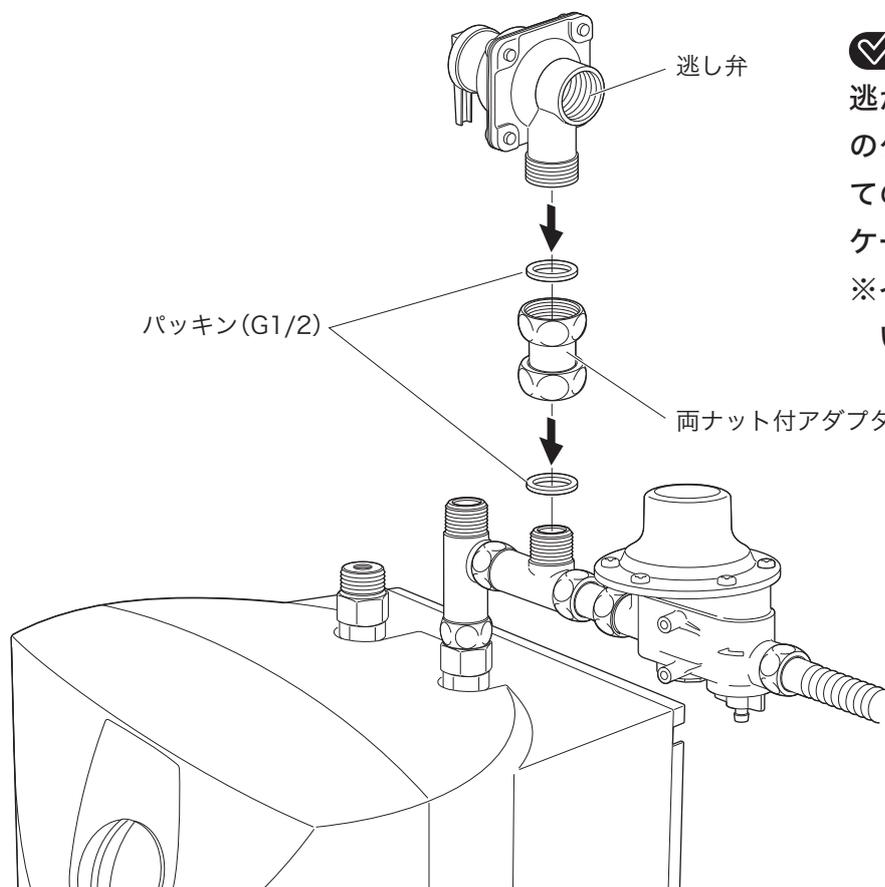
3 [減圧弁・逃し弁・配管]セットを使って、下図を参考に「減圧弁」を接続します。



✓ **ご注意**

オプション品の減圧弁には向きがあります。減圧弁に刻印された矢印の向きに注意してください。

4 [減圧弁・逃し弁・配管]セットを使って、下図を参考に「逃し弁」を接続します。



✓ **ご注意**

逃がし弁には、発泡スチロール製のケースが付属しています。すべての配管が終わった後に、付属のケースを取り付けてください。
※イラストでは、ケースを付けていない状態で説明しています。

7-2-4. ボイリングトラップ(間接排水器具)を設置する

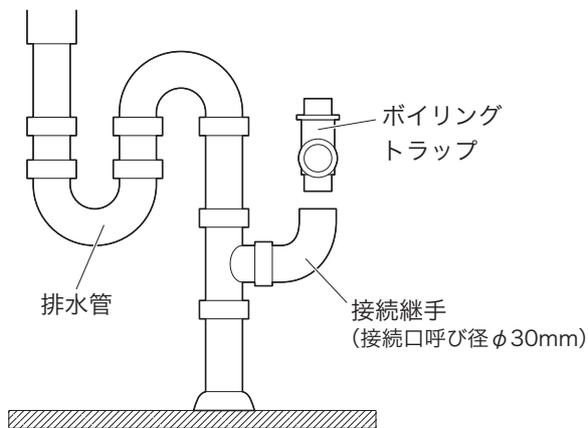
ここでは、[ボイリングトラップ]セット(→P4)を使用した手順を説明しています。ボイリングトラップ等の部材を現地手配する場合は、この説明を参考に取り付けてください。

1 排水管に「接続継手」を取り付け、ボイリングトラップを接続します。

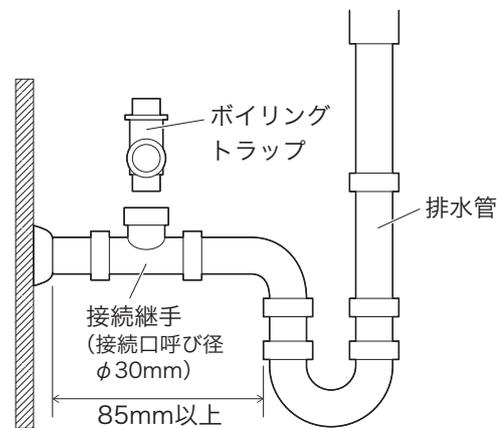
MEMO

排水管部は接続継手を含めて、現地手配で施工願います。

■床排水(Sトラップ)の場合



■壁排水(Pトラップ)の場合

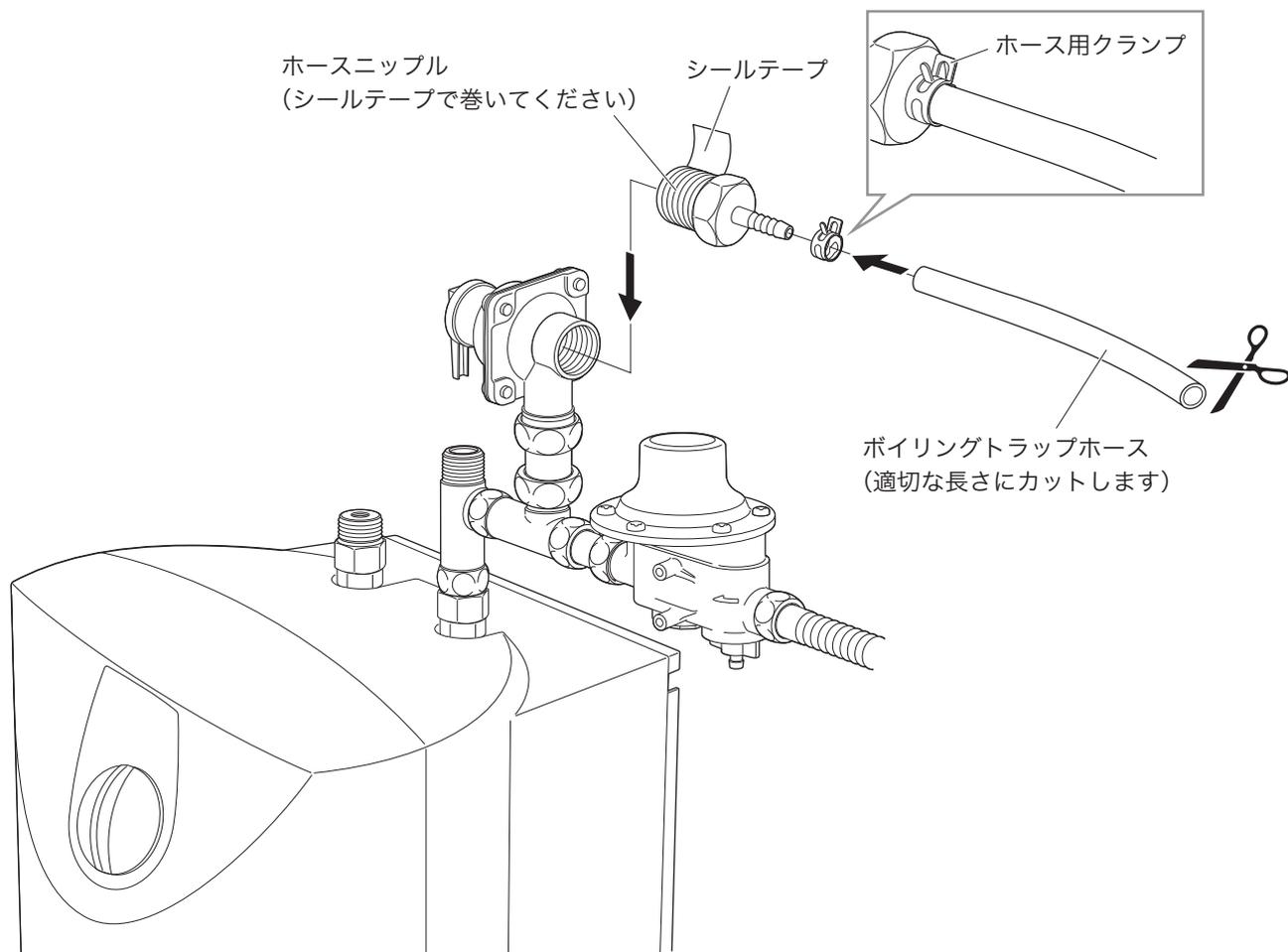


- ボイリングトラップと配管の接続部は、テープなどで臭気が漏れないように施工してください。

✓ ご注意

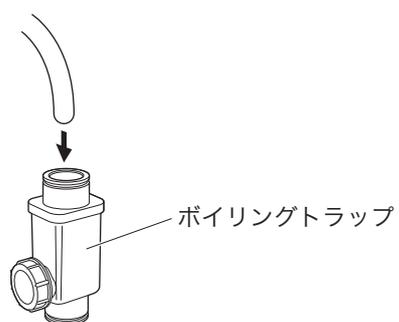
ボイリングトラップは、電気温水器1台につき、1個取り付けてください。

2 下図を参考に、各パーツを接続します。

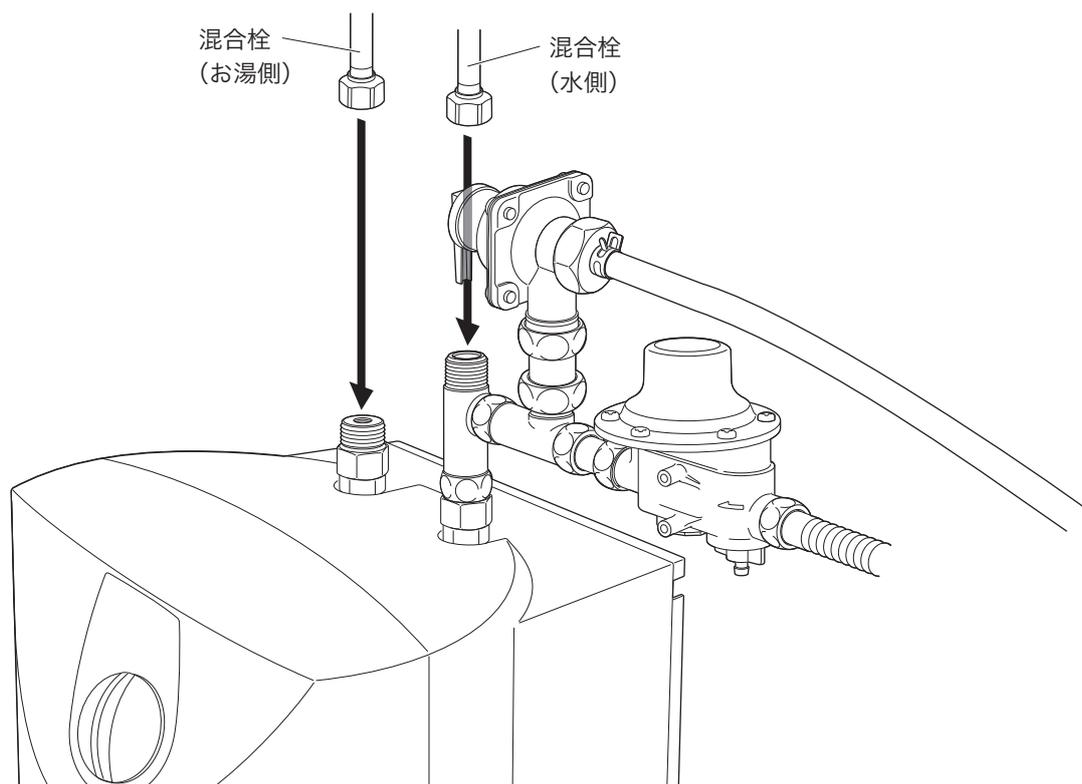


- ① 逃し弁にホースニップルを接続します。
- ② ホースニップルにシールテープを巻きます。
- ③ ボイリングトラップホースをホースニップルに接続し、ホース用クランプで止めます。
- ④ ボイリングトラップホースを適切な長さにカットします。

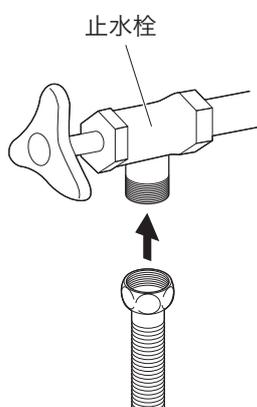
3 ボイリングトラップホースをボイリングトラップの受け口に接続します。ボイリングトラップからホースが簡単に外れないようにテープなどで固定します。



4 混合栓に接続します。



5 止水栓に接続します。



✓ ご注意

- 電気温水器本体と止水栓の接続には、フレキシブル管を使用してください。鋼管などを使用するとシーリング剤などが混入し、正常に動作しない恐れがあります。
- フレキシブル管を無理に折り曲げないようにし、最低R=40mmは確保してください。

6 すべての配管作業が終われば、逃がし弁に付属の発布スチロール製のケースを、逃がし弁に取り付けます。

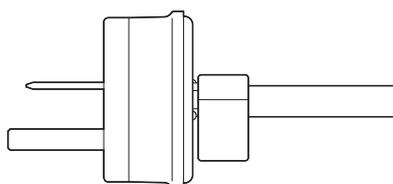
7-2-5. 電気工事を行う

1 電源が規定の電圧であることを確認します。

✓ **ご注意**

規定電圧の範囲外の電圧で使用すると、故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。

2 本製品は3Pプラグ仕様です。適合するコンセントの準備と電源容量を確保して工事します。



本製品側電源プラグ		現場手配品(受け側 電源コンセント) ※相当品			消費電力
パナソニック 電工製	WF5112	パナソニック 電工製	250V、15A (単相)	WK3012W (露出)	1.5kW

✓ **ご注意**

電源プラグは、まだコンセントに挿し込まないでください。

7-3. 試運転



注意

貯湯タンク内に水がない状態では、「*」の位置から絶対に貯湯温度設定ダイヤルを回さないでください。ダイヤルを回すと、空焚きになり、故障や事故の原因となります。

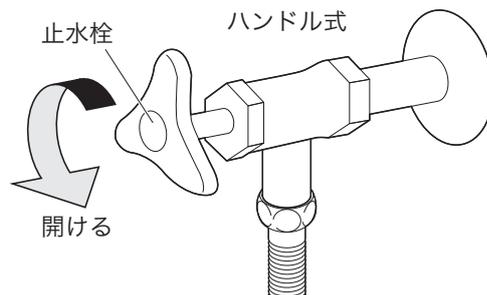
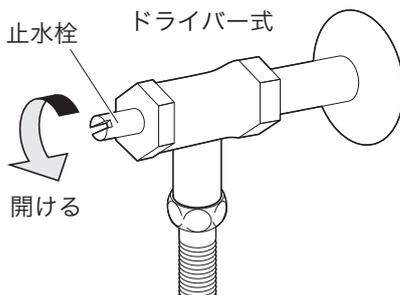
7-3-1. 電気温水器に給水する

- 自動水栓(単水栓)の場合 → このあとの説明へ
- シングルレバー混合栓または2ハンドル混合栓の場合 → 次ページへ

▶自動水栓(単水栓)の場合

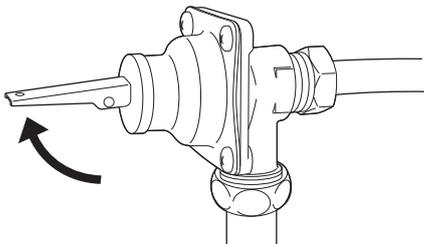
1 電気温水器の電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認します。

2 止水栓を開けます。



- 貯湯タンクへの貯水が始まります。
- ご使用の設備によって止水栓の形状は異なります。

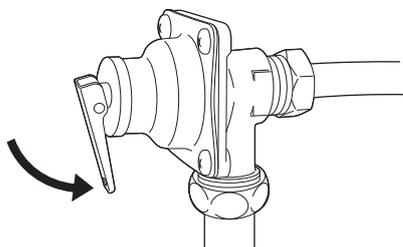
3 逃し弁の手動レバーを引き上げます。



- 貯湯タンクが満水になるとボイリングトラップに水が流れ出します。

4 ボイリングトラップに、そのまま1分ほど排水します。

5 逃し弁の手動レバーを元に戻します。



6 自動水栓のセンサーを反応させ水を出します。しばらくして水の出方が安定したら貯湯タンクは満水です。

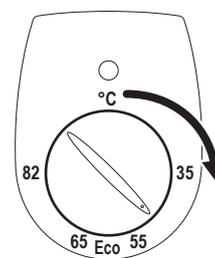


7 配管の接続部に水漏れがないことを確認します。

8 電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込みます。P23「7-3-2.電気温水器に通電する」へ進みます。

MEMO

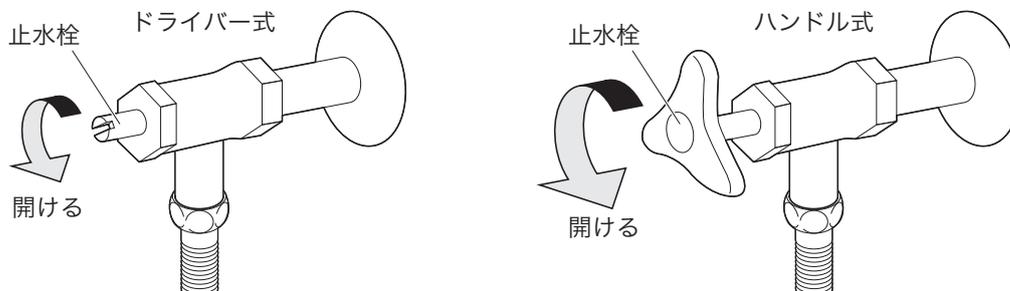
貯湯温度を調整するには、本体上面にある貯湯温度設定ダイヤルを設定したい温度に合わせます。



▶ シングルレバー混合栓または2ハンドル混合栓の場合

1 電気温水器の電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認します。

2 止水栓を開けます。



- ご使用の設備によって止水栓の形状は異なります。

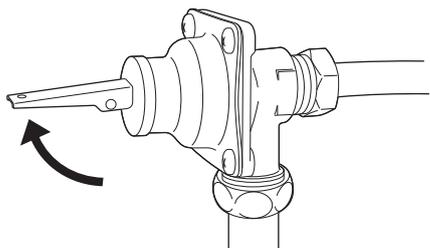
3 シングルレバー混合栓の場合は、お湯側にレバーをいっぱい回します。2ハンドル混合栓の場合は、お湯側のみを全開にします。



- 貯湯タンクへの貯水が始まります。

4 しばらくして水の出方が安定したら混合栓を閉めます。

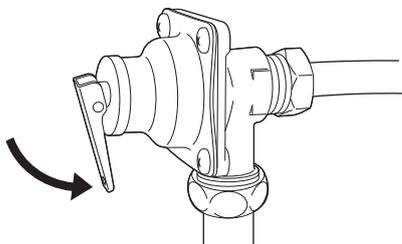
5 逃し弁の手動レバーを引き上げます。



- 貯湯タンクが満水になるとボイリングトラップに水が流れ出します。

6 ボイリングトラップに、そのまま1分ほど排水します。

7 逃し弁の手動レバーを元に戻します。

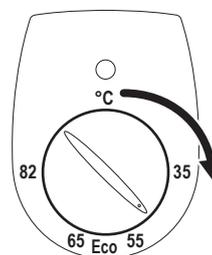


8 配管の接続部に水漏れがないことを確認します。

9 電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込みます。次の「7-3-2. 電気温水器に通電する」へ進みます。

 **MEMO**

貯湯温度を調整するには、本体上面にある貯湯温度設定ダイヤルを設定したい温度に合わせます。



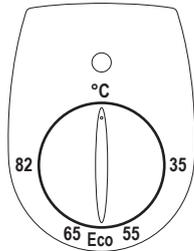
7-3-2. 電気温水器に通電する



注意

貯湯タンク内に水が満たされてから通電してください。水が満たされていないと、空焚きになり、故障や事故の原因となります。

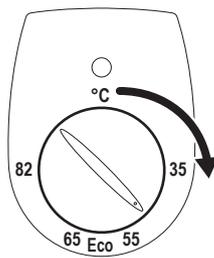
1 電気温水器の上部にある貯湯温度設定ダイヤルが「°C」になっていることを確認します。



2 電気温水器の貯湯タンクが水で満たされていることを確認します。

- 自動水栓の場合は、センサーを反応させて水を出します。シングルレバーまたは2ハンドル混合栓の場合は、お湯側を開けて水を出します。
- 水が安定して排出されることを確認し、排出を止めます。
- 水の排出が不安定な場合は、タンクが満水でない可能性があります。安定するまで水を出してください。

3 貯湯温度設定ダイヤルを設定したい温度に合わせ、通電表示ランプが点灯していることを確認します。



- 4** 設定温度まで湯温が上がると、通電表示ランプが消灯します。以降は、設定温度を保つため、ヒーターがオンになったときにランプが点灯します。

●沸き上がり時間の目安：MAX (約60℃)の場合

給水温度	5℃	15℃
沸き上がりの時間	約13分	約11分

✓ **ご注意**

- 止水栓、吸水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因となります。試運転後は、フィルターをきれいに清掃してください。
- 減圧弁、逃し弁は、消耗品です。劣化による機能の低下や水漏れを起こすことがあります。必ず定期的に交換していただくよう、お客様に説明してください。
- 手洗いなど、40℃近辺の温度に固定して使用される場合は、電気温水器本体の貯湯温度設定ダイヤルで40℃近辺に設定するか、混合水栓で常に40℃近辺で出湯されるように、あらかじめ設定してください。設定後は、適切な温度で出湯されることを確認してください。

- 5** お湯が出湯されることを確認します。

- 6** 高温注意のステッカーを使用者に確認して、目に留まる場所に貼り付けます。

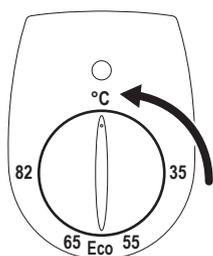
8. 水抜きの方法

長期間使用しない場合は、タンクの水抜きをしてください。

ここでは、電気温水器の貯湯タンクの水を抜く方法を説明します。

1 電気温水器で使用している電源ブレーカをオフにし、電源プラグを抜きます。

2 貯湯温度設定ダイヤルを「°C」に合わせます。



3 シングルレバー混合栓の場合は、お湯側にレバーをいっぱい回します。2ハンドル混合栓の場合は、お湯側のみを全開にします。お湯を排水して貯湯温度を下げます。

シングルレバー混合栓



2ハンドル混合栓



4 5分以上流したのち、止水栓を閉じます。電気温水器本体に接続した配管を外します。

5 壁固定金具から電気温水器本体を外し、本体を逆さまにして貯湯タンクの中に残った水を排出します。

9. トラブルシューティング

お湯が出ない、お湯にならない

確認すること	対処の方法
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグがコンセント(AC200V)に差し込みます。
電気温水器用の電源ブレーカが「切(OFF)」になっていませんか。	電源ブレーカを「入(ON)」にします。
貯湯温度設定ダイヤルが「°C」になっていませんか。	貯湯温度設定ダイヤルを適切な温度に設定します(→P22)。

お湯が適温にならない

確認すること	対処の方法
貯湯温度設定ダイヤルの設定温度が低すぎませんか。	貯湯温度設定ダイヤルを適切な温度に設定します(→P22)。 (ダイヤルの設定値と実際の温度に差が生じる場合があります)

湯・水が出湯・出水されない。出湯量・出水量が少ない

確認すること	対処の方法
減圧弁の向きを間違っていないですか。	減圧弁には向きがあります。間違っていたときは、向きが正しくなるように付け替えます。
止水栓が閉まっていませんか。	止水栓を開けます。
電気温水器の貯湯タンクは満水になっていますか。	貯湯タンクに給水して、満水にします(→P19)。
配管の途中やカーンに小さなゴミが挟まっていますか。	ゴミがないか確認し、取り除きます。

水が漏れている

確認すること	対処の方法
電気温水器本体から水漏れしていますか。	弊社までご連絡ください。
配管接続部から水漏れしていますか。	接続部を締め直すなどして、水漏れを解消します。

電源ブレーカが作動してしまう

確認すること	対処の方法
電源ブレーカの容量は適切ですか。	容量が足りない場合は、電源ブレーカ容量を上げるか、同一電源ブレーカの機器を外して容量を確保します。

 MEMO

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

日本スティーベル

044-540-3203

平日9:00~17:30 (土日祝日および弊社特定休業日を除く)

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <http://www.nihonstiebel.co.jp>

■製造者

スティーベルエルトロン

本書、製品の仕様、外観及び価格は予告なく変更する場合があります。

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。